



愛郷無限

土屋館
どや
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2014年03月05日号 NO.457

写真提供：大仙市

Subject：大仙おもてなしマイスター制度 試験！

昨年10月より年末まで開催されたJRのディステーションキャンペーン。当地では官民協働でDC推進委員会を組織し、様々なイベントやもてなし企画を立ち上げました。それぞれが好評を博したことは折々のドヤツでご報告の通りですが、大曲のDCはまだ終わっていません。10月から4ヶ月がかりで進めておりました、【大仙観光マイスター認証制度】。最終認定試験が行われ、いよいよ4月に認証式を迎えます。一般の参加者は40名弱で、これまで以下のような講座を重ねてきました。

基本編	・接遇ノウハウ	10月14・16・20日
実地編	・観光知識	11月17・20日
	・花火と歴史知識	12月1・4日
	・土産品と飲食	1月26・29日
マイスター試験		2月23日

参加者皆さんはとても熱心で、ほとんど落伍者が出ずに各回の実地講座を受けてくれました。

最終試験を2月23日に開催。答案を採点した結果、予想以上に皆さんしっかりと勉強をいただいたことがその回答結果から分かりました。分かりやすく簡単な問題にして一人でも多くの有資格者を認定すべきでは？という意見も当初はあったのですが、これから実際に様々な場面で市外からの来訪者へ当地の魅力を伝え・PRする最前線に当たっていただく方々なので、たとえ合格者が少なくなったとしても、一定以上のレベルに到達している人だけを認証すべきだと決定。(自分たちがこの試験を受けても80点獲れるかな～と思えたほどの難しい問題だったのですが、しかし最高得点は何と98点！でした。)。平均点も80点に近いものでした。参加いただいた受講者の熱意と勉強ぶりが伝わってきます(各講座を受けているときから皆さんとても熱心でした)

残念ながら今回は合格できなかった方もいます。しかし、点数だけでは評価できないのが【おもてなし】。あくまで心の先に立ってこそその知識だからです。今回の研修を通して受けて、実際に現場を見て・学んだことは今後にとっても役に立つはず。

資格を取ることは目的ではなく手段です。今回のおもてなしマイスター制度は【地元学ことはじめ】の総合的な入口ではありますが、来年以降も引き続き継続していきたい・すべき事業であることは、参加者皆さんの取り組み姿勢と、試験結果から明らかになりました。